

栗東市水道事業経営戦略の進捗管理について

水道事業のさらなる経営の効率化のため策定した「栗東市水道事業経営戦略」の進捗管理を報告します。投資・財政計画について実績値との乖離検証を行い、経営戦略を推進します。

令和3年度 投資・財政計画比較(計画・実績)

単位:千円

◆収益的収支

	計 画	実 績	比較増減 (実績－計画)
営業収益 (A)	1,059,987	1,131,075	71,088
営業外収益 (B)	100,514	105,848	5,334
収入計(A)＋(B)＝(C)	1,160,501	1,236,923	76,422
営業費用	1,121,455	1,111,976	△ 9,479
営業外費用	52,505	40,437	△ 12,068
支出計 (D)	1,173,960	1,152,413	△ 21,547
経常損益(C)－(D)＝(E)	△ 13,459	84,510	97,969
特別利益 (F)	0	2,062	2,062
特別損失 (G)	0	0	0
特別損益(F)－(G)＝(H)	0	2,062	2,062
当年度純利益(E)＋(H)	△ 13,459	86,572	100,031

◆資本的収支

	計 画	実 績	比較増減 (実績－計画)
収入計 (A)	501,385	362,555	△ 138,830
財源充当額 (B)	0	71,700	71,700
純計(A)－(B)＝(C)	501,385	290,855	△ 210,530
支出計 (D)	841,319	682,231	△ 159,088
不足額(D)－(C)＝(E)	339,934	391,376	51,442
企業債残高	3,713,338	3,512,468	△ 200,870
資金残高	729,421	1,261,371	531,950

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填

※表示単位の端数処理の関係上、計画数値と一致しない場合があります。

水道事業

目標指標の達成状況

◆投資目標

項目	R1	R2	R3	目標	
				R4	R9
耐震化計画の策定	未策定	未策定	未策定	策定	策定
有収率(%) 施設の稼働がどの程度収益につながっているかを表す指標 年間総有収水量÷年間総配水量×100	90.7	91.1	91.4	93.5	95.0
施設利用率(%) 施設の利用状況や適正規模を判断する指標 一日平均配水量÷一日配水能力×100	76.8	78.3	79.6	75.0	75.0
管路更新率(%) 管路の更新ベースや状況を把握する指標 当該年度更新管路延長÷管路延長×100	0.6	0.5	0.6	0.6	1.0

◆財政目標

項目	R1	R2	R3	目標	
				R4	R9
料金水準・体系の見直し	—	—	—	検討実施	検討実施
料金回収率(%) 給水に係る経費がどの程度給水収益でまかなえているかを表す指標 供給単価÷給水原価×100	103.1	98.3	106.0	97.0	110%以上
経常収支比率(%) 経常費用が経常収益によってどの程度賄えているかを示す指標 (営業収益+営業外収益)÷(営業費用+営業外費用)×100	105.2	100.7	107.3	100%以上	100%以上
企業債残高対給水収益比率(%) 給水収益に対する企業債残高の割合で、企業債残高の規模を表す指標 地方債現在高合計÷給水収益×100	324.9	334.8	316.8	375.0	310.0